



義務教育学校 曾爾小中学校だより

令和5年(2023)1月10日
編集発行責任者 森川 敏和

学校教育目標

「心豊かでたくましく、自ら学ぶ意欲をもち、ふるさとを大切にすることの育成」

明けましておめでとうございます！
「新年にあたって・・・」！



「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。その意味は、新しく迎える一年の目標や計画は、その年の初めの元旦に立てるべきであるということです。何事においても、何かを始める時には、きちんとした計画をたてなくてはなりません。新しい年を迎えるにあたり、その一年になすべきことを、年の初めの元旦にきちんと計画を立てる。そうすることで、その一年が有意義な一年になると言われています。みなさんも年の初めに、今年一年の目標を立ててがんばろうという気持ちを持ってください。目標を達成するためには日々の努力が大切です。努力し続けることは、困難が伴います。遊びたい、好きなことをしたいなど私たちの生活には誘惑がたくさんありますが、こつこつ努力を積み重ねましょう。

先日、職員室のコピー用紙を見て感じたことがあります。一枚の紙はとても薄っぺらで、簡単に破れますが、コピー用紙も100枚の束になると厚く破れない紙の束になります。紙一枚を一日に置き換えてみましょう。たった一日では変化がないように思えても、365日努力を続けることで揺るぎない大きな力を身に付けることができます。3学期は、次年度に向けて学習を始め様々な「力」を蓄える大切な時期です。1年間の総まとめ、総仕上げをがんばりましょう。

「税についての作文」表彰式

国税庁及び全国納税貯蓄連合会が実施する、中学生を対象とした「税についての作文」の表彰式が12月14日(水)に曾爾村役場で行われました。応募作品の中から笹谷結菜さんに村長表彰が贈られました。



GUTS(学力向上合宿)12月15日～12月16日

12月15日(木)16日(金)、国立曾爾青少年自然の家に学びの場を移して、5～9年でGUTS(学力向上合宿)を行いました。GUTSは、集中して学習に取り組むことで、自らの進路を切り開くための学力向上を目指すとともに、2日間の集団生活の中で協力・自律の精神を養うことも目的としています。工夫を凝らした授業、自然の家でしかない体験、奈良教育大学の学生さんによる8年生を対象とした「私の勉強法」紹介など、充実した2日間になりました。2日目の学活はブロックごとに合同で振り返りを行い、活動を通して学んだことや感想を交流し合いました。



曾爾・御杖合同学活 9年修学旅行に向けて

令和5年度9年の修学旅行は、御杖中学校と合同で行くこととなりました。2年前の6年修学旅行も曾爾と御杖一緒に行きましたが、今回改めて9年修学旅行に向けての合同学活を開始しました。



青少年劇場公演(ピアノ連弾)

いったいどんな意味が込められていて、いつから元旦に目標を立てる習慣は始まったのでしょうか。

一年の計は元旦にありの意味は、

新しく迎える一年の目標や計画は、その年の初めの元旦に立てるべきである。

なにごとも、何かを始める時には、きちんとした計画をたてなくてはならない。新しい一年を迎えるにあたり、その一年になすべきことを、年の初めの元旦にきちんと計画を立てる。

そうすることで、その一年が有意義な一年になると言われています。

私たちにピッタリの言葉ですね。

このことわざの由来は、日本が由来の説。